

3 企業研究

① 企業研究の必要性

企業とは人・物・金・情報などの経営資源を用いて、事業を行い、「商品」や「サービス」を社会に提供する組織であり、規模や形態はさまざまです。

企業研究の目的は、自分の就職先としての候補企業を見つけることです。

② 企業研究について

(1) 候補企業をピックアップ

就職先企業としての判断基準は、各自のなかにあります。それに基づいて、就職先候補として考えられる企業をピックアップします。(この段階では間口を広くし、あまり数を絞らないこと)

〈情報源としては〉

- 1 学内就職資料及び情報閲覧システム (NU就職ナビ, CSNavi)
- 2 就職情報サイト, 企業HP等
- 3 就職情報誌
- 4 専門誌
- 5 企業関係者からのアドバイス
- 6 家族, 友人, 学科就職指導委員, 就職指導課などから
- 7 新聞 (全国紙, 地方紙, 業界紙)

(2) グループ分けし, 比較検討する

ピックアップした企業をグループ分けし, グループ内で相対比較検討を行い, 候補以外のものは除きます。

* グループ分けは, 業種別, 職種別, 企業規模別など, 各自の判断でかまいません。

(3) 優先順位をつける

就職活動は, 限られた期間で行われます。採用選考段階に入ると早く推移し, しかもやり直しはききません。また, 就職活動は, 複数の企業に対して行われますが, 最終的に就職するのは1社です。

したがって, 候補企業に対して優先順位をつけるのは極めて大切なことです。

* 優先順位のつけ方は, グループ別でも全体でもかまいません。この順位は, 以後の就職活動のなかで当然変化していくものです。

企業研究を経て資料請求を行い, 個別企業の具体的な研究に入り, さらに, 就職セミナー, 個別会社説明会などへと進み, 絞り込んだ企業への就職活動となるのです。

企業研究は, 就職活動の準備段階で「自己分析」とあわせて, 最も基本的かつ重要なものです。

③ インターネット利用の注意

企業研究を進めていく上で, インターネットの活用はたいへん有益です。ただし, インターネットは情報の収集や発信のための道具であることを忘れないでください。そして, 企業が公開している情報も限られたものであることを理解しておく必要があります。

インターネットで収集した情報を自ら考え, 判断し, 最終目的である「内定」獲得に向けて行動していくことが重要です。